

令和 3 年度

港湾緑地管理仕様書

(浦郷みなと緑地・西浦賀みなと緑地・久里浜みなと緑地)

横須賀市みなと振興部

港湾緑地（横須賀市立浦郷みなと緑地、横須賀市立西浦賀みなと緑地、横須賀市立久里浜みなと緑地）の指定管理者が行う業務の内容及びその範囲等は、この仕様書による。

1 趣旨

本仕様書は、横須賀市立浦郷みなと緑地、横須賀市立西浦賀みなと緑地及び横須賀市立久里浜みなと緑地の指定管理者が行う業務内容及び履行方法について定めることを目的とする。

2 港湾緑地の管理に関する基本的な考え方

港湾緑地を管理するにあたり、港湾緑地条例（平成4年横須賀市条例第28号。以下「条例」という。）、港湾緑地条例施行規則（平成4年横須賀市規則第22号。以下「規則」という。）及び次に掲げる項目に沿って行うこと。

- ① 海に親しむ憩いの場の提供
- ② 余暇の活用と健康の増進
- ③ 本市交流人口の増加
- ④ 港湾のアピール
- ⑤ 開放感や明るさ、安全、安心等の確保

3 施設の概要

（1）横須賀市立浦郷みなと緑地

- ・ 場 所 横須賀市浦郷町3丁目66番地
- ・ 開設年月日 平成10年4月1日
- ・ 面 積 2,715㎡
- ・ 施 設 広場、コンビネーション遊具等別添平面図内の施設

（2）横須賀市立西浦賀みなと緑地

- ・ 場 所 横須賀市西浦賀1丁目9番地他
- ・ 開設年月日 平成13年4月1日
- ・ 面 積 6,298㎡
- ・ 施 設 親水護岸（ボードウォーク）、パーゴラ等別添平面図内の施設

（3）横須賀市立久里浜みなと緑地

- ・ 場 所 横須賀市久里浜8丁目2,567番地
- ・ 開設年月日 平成15年4月1日

- ・面 積 2,789㎡
- ・施 設 広場、コンビネーション遊具等別添平面図内の施設

4 管理期間

令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

5 施設の供用日及び供用時間

- ・供 用 日 通年
- ・供用時間 終日

6 業務内容

(1) 各港湾緑地共通

港湾緑地管理に係る主な業務内容は、別表1「港湾緑地管理に係る主な業務内容」を参照

ア 港湾緑地行為許可業務

(ア) 次に該当する申請があった場合は、これを許可してはならない。

- ・施設を毀損するおそれのある行為
- ・公序良俗に反する行為
- ・その他港湾緑地の設置目的にそぐわない行為

(イ) 次に該当する申請があった場合は、市の指示を受けること。

- ・占用を伴うもの
- ・申請内容について疑義のあるもの

(ウ) 横須賀市行政手続条例の規定による行為許可の標準処理期間を、3日とする。ただし、12月29日から翌年1月3日までの期間は、算入しない。

(エ) 港湾緑地行為許可申請書及び許可書の様式は、市との協議により定める指定管理者所定の様式とする。

(オ) 行為に係る使用料の減免の取扱いは、規則第6条及び市の指示による。

【参考】行為に係る使用料 条例別表第3（第13条第2項関係）

行 為 の 種 類	単 位	使用料
業として行う写真撮影そ	1日につき	円

の他これに類するもの		20,950
業として行うテレビジョン又は映画の撮影その他これらに類するもの	1日につき	41,900
競技会、展示会その他これらに類するもの	1平方メートル 1日につき	10
物品の販売その他これに類するもの	1平方メートル 1日につき	400

備考 使用料の額を算定する基礎となる面積に1平方メートル未満の端数がある場合はこれを切り上げ、その面積が1平方メートルに満たないものは1平方メートルとして計算する。

イ 施設利用者の保安及び監視

(ア) 利用の制限

港湾緑地の利用者が次の各号のいずれかに該当する場合には、港湾緑地の利用を拒むことができる。

- ① 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- ② 港湾緑地の施設又は付属施設をき損するおそれがあると認められるとき。
- ③ 管理上支障があると認められるとき。
- ④ その他適当でないと認めるとき。

(イ) 行為の禁止

港湾緑地においては、条例第12条に基づき次に掲げる行為をしてはならない。ただし、③から⑤までに掲げる行為について指定管理者が許可したときは、この限りでない。

- ① さおづり又は手づり以外の方法で水産動植物を採取すること。
- ② 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれのある行為をすること。
- ③ 業として行う写真、テレビジョン又は映画の撮影その他これらに類する行為
- ④ 競技会、展示会その他これらに類する催しのために港湾緑地の全部又は一部を独占して使用すること。
- ⑤ 物品の販売その他これらに類する行為

⑥ その他港湾緑地の管理上支障があると認められる行為

なお、条例第12条第6号に定めるその他港湾緑地の管理上支障があると認められる行為を例示すると、次に掲げる行為が挙げられる。

- ・施設を損傷し、又は汚損すること。
- ・許可を受けた以外のはり紙、はり札その他の広告物を表示すること。
- ・その他係員の指示又は公園に掲示する注意事項若しくは指示事項を遵守しないこと。

(ウ) 利用者の遵守事項

港湾緑地の利用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- ① 立入禁止区域に立ち入らないこと。
- ② 所定の場所以外に自転車等を乗り入れないこと。
- ③ 植物を採取し、又は損傷しないこと。
- ④ 所定の場所以外において火気を使用しないこと。
- ⑤ 所定の場所以外においてごみその他の汚物を捨てる行為をしないこと。
- ⑥ 飼い犬を入場させるときは、その犬を綱、鎖等でつなぎ、確実に保持すること。

(エ) 事故防止

- ① 利用者が安全に施設を利用できるように定期的に巡回を行い、事故防止に努めること。
- ② 混雑時には、可能な限り巡回の回数を増やすこと。
- ③ 身体に危害が及ぶ危険な行為及び立入禁止区域への立入りには、厳重な注意を与えること。
- ④ 年少者の行動には特に注意し、保護者にも適切な助言や注意を与えること。
- ⑤ 手すり、はしご、浮輪等の安全設備の破損、腐食等に注意すること。
- ⑥ 普通救命講習等を受講し、適正な心肺蘇生法やAEDの使用方法の習得に努めること。
- ⑦ 利用者の安全や事故防止に係る事項は、適切な掲示等により利用者に十分周知すること。また、年少者をはじめとする様々な利用者に対して、正確な情報の周知に配慮すること。
- ⑧ 荒天、高潮、津波のおそれがある場合は、本市の承認を得て休園

又は入園中止の措置を取り、事故の防止に努めること。ただし、天候の急変等により本市の承認を得ることができないときは、指定管理者の判断で措置を取ることができる。この場合においては、公園入口にその旨を掲示し、広報を十分に行い、できる限り利用者等に情報を提供し、理解を得るよう努めること。

- ⑨ 業務上における利用者等への損害賠償に備え、施設賠償責任保険に必ず加入すること。その際、施設所有者である横須賀市も補償の対象（被保険者）となる契約内容とすること。なお、契約内容は以下についても補償されるものとする。

（Ⅰ）施設の設置・管理瑕疵に起因する損害に対する損害賠償

（Ⅱ）支払限度額は次の金額以上

対人賠償 1名につき50,000千円、1事故につき100,000千円

対物賠償 1事故につき10,000千円

ウ 施設の維持及び補修

（ア）施設の設置目的を最も効果的に達成するため、常に良好な状態を維持すること。

（イ）樹木の植栽や剪定等においては、防犯上の観点から、遮蔽された空間が生じることのないよう心掛けること。

（ウ）施設本来の用途及び目的を妨げない範囲で、修繕を行うこと。その修繕料が1件につき50万円以下の場合においては、本市との協議を要せずに指定管理者の負担で修繕を行い、その後、本市に報告を行うこととする。

エ 施設の清掃

（ア）施設の利用者に対し、快適な憩いの場を提供するため、公園内を清掃し清潔保持に努めること。

（イ）混雑時には、利用者に対しゴミの持ち帰りを啓発すること。

オ 施設の使用、運転及び保守点検

施設の設置目的を最も効果的に達成するため、常に良好な状態を維持するよう使用、運転及び保守点検に努めること。

カ 自動販売機管理

- (ア) 園内巡回時に自動販売機の異常を発見した場合又はその通報があった場合には、速やかに自動販売機業者に連絡し処置をさせること。
- (イ) 自動販売機に関する利用者からの苦情等については、自動販売機業者に取り次ぐこと。

キ 横須賀市及び関係官庁との連絡調整

次に掲げる事項については、文書をもって処理するものとする。

- (ア) 事件、事故、災害等の報告
- (イ) 市及び指定管理者間の連絡及び報告等で、文書で処理することが適当と思われるもの
- (ウ) 事前に市の承認又は指示を得る必要のある事項

ク 省エネルギーに対する取組み

- (ア) 「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」の改正（平成22年4月施行）に基づき、施設におけるエネルギー使用量について測定・記録し、市へ報告すること（年1回）。
- (イ) 施設内に張り紙をするなど、施設利用者に対して、できる限り電気等の利用を削減することなどの周知及び啓発に努めるとともに、指定管理者自らの事務を行う上で、電力等の使用量を削減するための必要な措置をできる限り講じるよう努めること。

ケ みどり（樹木等）に関する配慮・報告

- (ア) ガイドラインの運用について

樹木等のみどりを良好な状態に保つため、本市が策定した「公共施設の緑化及びみどりの育成に配慮した維持管理ガイドライン」に基づいて、樹木等の適切な育成管理に努めること。

【参照】横須賀市ホームページ > くらし・環境 > 身近な自然・環境 > 環境施策 > 公共施設の緑化及びみどりの育成に配慮した維持管理ガイドライン

- (イ) ガイドラインに基づく報告について

同ガイドライン「配慮指針編」に規定された市への報告を適切に行うとともに、市からアドバイス及び調整事項があった場合は、可能な限り、その趣旨に沿った対応をとること。

7 事業報告及び業務の調査等

(1) 事業報告書の提出期限

「指定管理者事業報告書」の提出期限は、協定で定める。

(2) 事業報告の内容

- ① 当該年度の管理業務の実施及び利用の状況に関する書類（事業の実施状況、使用許可等の状況等、使用者からの要望及びそれに基づいた改善結果）
- ② 当該年度の使用料の収入実績に関する書類
- ③ 当該年度の管理経費の収支状況（収支決算書）
- ④ 当該年度の指定管理者の経営状況を説明する書類（収支（損益）計算書、貸借対照表等）
- ⑤ その他施設の管理の実態を把握するため市長が必要と認める書類

(3) 管理業務の運営状況報告について

管理業務の運営状況について、市の指定した様式により作成し、翌月の10日までに市に報告すること。また、業務の日報についても市の指定した様式により作成すること。

(4) 実施予定表について

四半期ごとに自己評価を行い、管理業務の運営状況報告とともに市に提出すること。

(5) 事業報告書等の提出先

横須賀市みなと振興部港湾管理課

8 物品の帰属等

市の所有に属する物品の管理は「横須賀市物品会計規則」に基づいて行うため、指定管理者においても、同規則に定められた備品整理簿に準ずる帳簿を備えて、その保管に係る物品を適切に管理しなければならない。

9 災害等が発生した際の対応

災害等が発生し、市が施設をその対策のために使用することを決定した場合は、市の指示に従い、当該災害等の対策に関する業務に協力すること。

10 業務を実施するに当たっての注意事項

業務を実施するに当たっては、次の各項目に留意して円滑に実施すること。

- (1) 公の施設であることを常に念頭に置いて公平な運営を行うこととし、利

用者によって異なるサービスの提供を行わないこと。

(2) 自主事業

施設のサービス向上及び市民への利用機会の提供を目的として、本業務の実施を妨げない範囲において、自己の責任と費用により自主事業を実施することができる。自主事業を実施する場合には、事前に事業計画書及び収支予算書を市に提出し、あらかじめ市の承認を得なければならない。

なお、自主事業から得られた剰余金は、管理経費に充てることも指定管理者の収入とすることもできるが、自主事業にかかる経費は管理経費に算入することはできないものとする。

(3) 指定管理者が施設の管理にかかる各種要領等を作成する場合は、市と協議を行うこと。

(4) その他、この仕様書に規定するもののほか、指定管理者の業務の内容及び処理について疑義が生じた場合は、市と協議を行うこと。